アシストバックセンサー
ブザータイプ

MODEL 46-0213B

取付／取扱説明書

このたびはツーフィットの製品をお買いあげ頂き、ありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取付／取扱説明書」をよくお読みください。なお、お読みになった後もお手元におき、ご活用ください。

本製品の特徴

アシストバックセンサーは電磁波を利用して障害物の接近を感知する画期的なパーキングセンサーです(絶縁体であるガラス、セラミック、プラスチックなどだけで構成されている乾燥した物質は対象外です)。バックギヤに入れると作動し、OKサイン(A)によって作動が確認できます。アシストバックセンサーが作動開始すると、センサーが取り付けられたバンパー周辺に感知距離範囲が発生します。障害物がバンパーに近づいて感知距離内に入ると警告音を発します。

A） 車両のシフトをバックギヤに入れた時点で全てのシステムチェックは終了し、異常があった場合には高音、低音の２つの音が３～４秒間鳴って警告。制御が正しければOKのサイン(ピポ音)を発します。
B） 障害物への接近中、バンパーと障害物間(バンパー中心部より60～70cm)から警告音を発し始め、３段階の音で警告します。そして、近接時には連続ブザー音で障害物への接近を知らせます。

●スペック

項　目	数　値	備　考
電圧	DC 12V	9.5～18Vにて作動
消費電流	70mA	
耐久温度	－20℃～＋90℃	
感知開始平均距離	70～80cm	

目次

1 安全上の注意　P２
2 取付に必要な工具　P３
3 内容物一覧　P３
4 取付要領　P４

1 安全上の注意

本製品は安全に十分配慮した設計／製作を行っております。しかし、電気製品は取扱方を間違えたまま使用すると、火災やショート、感電などにより、思わぬ事故を招くことがあります。また、取付の際も注意を怠ると、部品や使用する工具などにより思わぬ怪我をすることがあります。事故を未然に防ぐため、次の点をお守りください。

表示区分の説明

警告　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うなどの危険の発生が想定される内容を示しています。

注意　この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

●取り付け後、製品が正常に作動しない場合は、再度、配線状態を確認し、誤配線があれば正しくやり直してください。配線が正常にもかかわらず作動しない場合、通電をやめて取り付け方法等を再度確認してください。
●製品を本来の目的外に改造された場合や外国で使用した場合の責任は一切負いません。
●本製品は原則として、開封後の返却には応じられません。また、取り付けの際、万が一、製品及び車両の破損、事故、作業中のケガ等が発生しても一切責任を負いません。取り付けの際は十分注意してください。

注意

●ご使用になる際、お車の形状や実際の障害物の場所、アングル、形状、材質等で誤差が生じます。取り付けの際は様々な角度から障害物をテストして確認されることをお勧めします。
●障害物への接近速度が速い場合、１段階目の警告音がせず、最初に２段階目の警告音が鳴ることがあります。ご自身のバックの際の速度と警告タイミングを確認することをお勧めします。
●降雨・降雪時にはシステムが高感度のために誤警告音を発する場合があります。この場合は安全圏が自動的に狭くなりますが、システムはバンパーに近い障害物を端とします。バック時には常に十分な注意をしてください。
●バンパーに付着した泥や雪は誤作動につながりますので、必ずこまめに取り除いてください。
●本製品はバックセンサーですので、フロントバンパーなどの障害物センサーとしては使用できません。
●この装置はドライビングのサポートを目的としたもので、安全装置ではありません。道交法上、目視での安全確認が必要です。また、当製品の使用においてのいかなる損害や障害に対して、一切の責任を負いかねます。
●不適切、不完全な取り付けや使用による所有物や第３者への損害や障害に対して一切の責任を負いかねます。

2 取付に必要な工具

本製品の取り付けにあたり、次のような工具・部材をご用意ください。

工具

ドライバー（＋／－）、スパナ、メガネレンチ、ソケットレンチ、内装外し、ニッパー、ラジオペンチ、電工ペンチ、ハンドテスター（検電ランプ）

部材

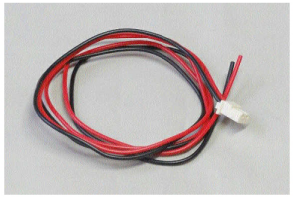
クワ形端子

エレクトロタップ

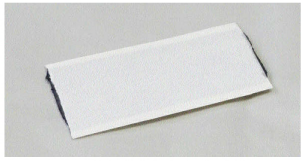
3 内容物一覧

取付作業前に、部品がすべて揃っているかの確認を行ってください。

46-0213B本体



電源ハーネス



本体固定用粘着材

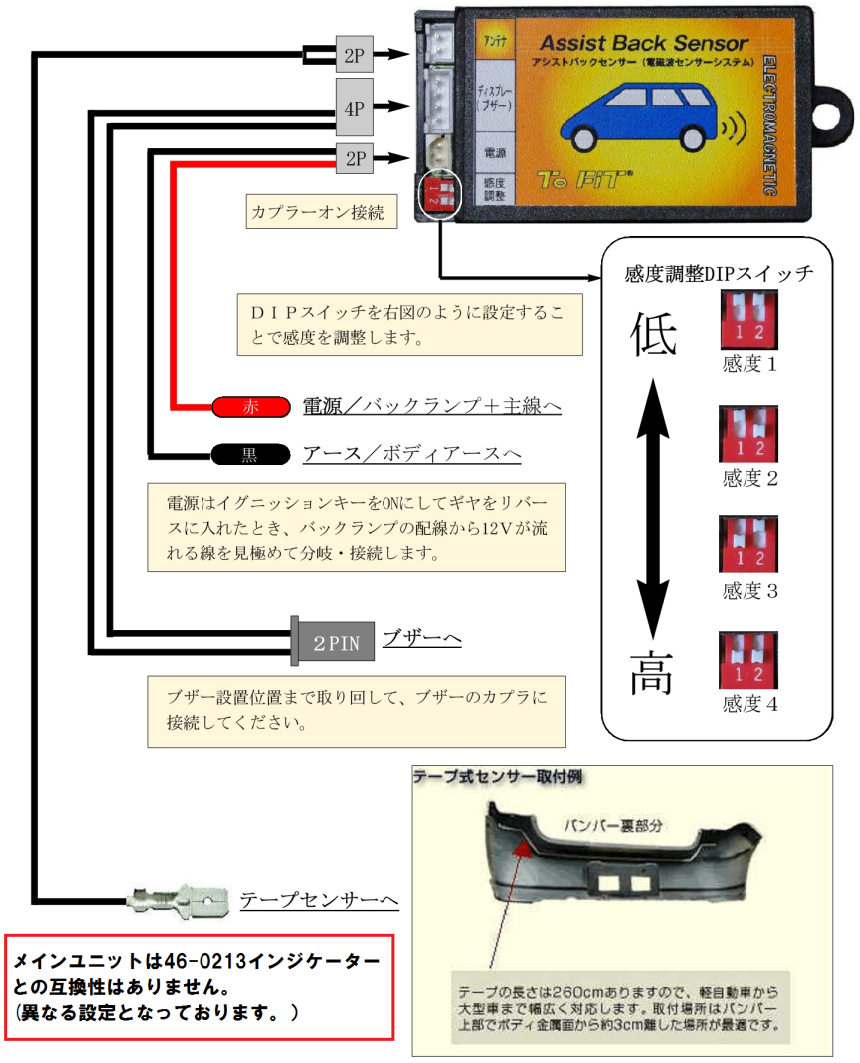
ブザー＆ブザーハーネス

アルミ粘着リボンアンテナ

センサーハーネス

4 取付要領

46－0213B アシストバックセンサー　配線図



メインユニットは46-0213インジケーターとの互換性はありません。
（異なる設定となっております。）

取り付け手順

①リヤバンパーを取り外します。詳しくは整備書等を確認してください。

②アルミ粘着リボンアンテナを貼る場所をアルコール等で拭いて脱脂します。

③センサー部のアルミ粘着リボンアンテナをバンパー裏側に貼り付けます。

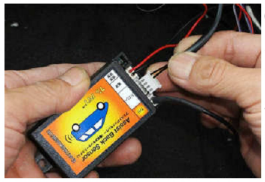
④金属面から３cm以上離れたバンパー上部に、左右均等に貼り付けてください。

⑤トランクに通じたグロメットを利用してセンサーハーネスを外に引き出します。

⑥本体ユニットとの接続に必要な長さを確保して、残りを全て外に引き出します。

⑦引き出したセンサーハーネスをバンパー裏に貼り付けたセンサーに接続します。

⑧車内にブザーを固定し、ブザーハーネスを接続します。



⑨ブザーハーネスを本体まで取り回し、4Pコネクターに接続します。

⑩バックランプの配線から点灯時に12V流れる線に電源線を分岐・接続します。

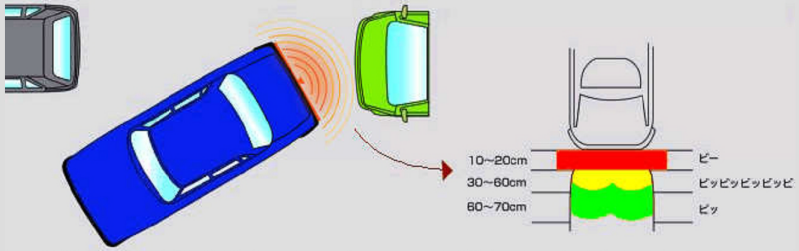
※１．センサー(アルミ粘着リボンアンテナ)はバンパー裏側面の地面からより高く離れた、車両ボディから最も離れている位置に取り付けることが重要なポイントとなります。
※２．センサー部は車体の金属部分から少なくとも３cm以上離れるよう設置してください。

センサーのお取付状況や車種、車両の周辺環境、天候等により感度・感知距離が異なる場合がございます。その場合は、センサー位置や感度調整スイッチ等で適宜調整願います。

動作テスト手順

①バンパーを仮留めし、イグニッションキーをONにしてシフトをリバースに入れます。
②数秒でシステムが作動し、全てが正常ならスピーカーからOK音(ピポ音)が出ます。この音が出ればシステムは動作可能状態です。
③車をバックさせるつもりでバンパー中心より１m位の距離から、ゆっくり車に歩み寄ってください。60～70cm位の距離から警告音が出始め、そのまま距離を詰めて20～30cmの距離で連続音になります。動作環境に応じて感度設定を適宜、行ってください。

アシストバックセンサーの基本動作



１．継続的な音で障害物がバンパーから30～60cmに近づいたことを知らせます。ただし、これはバンパー中心部からの数値で、アンテナの端の方では鈍くなります。
２．１とは異なる低音の断続的な音は、障害物がバンパーに近いところ(10～30cm)にあるとき、接触の危険があることを警告します。
３．障害物がバンパーに最も近いところ(10cm以内)に近づくと連続音(ピー)を発して警告します。※
※．車両の動きが止まるとしばらくして警告音は止まり、再びバンパーに接近し始めると引き続き警告音を発します。

動作しない場合に考えられる原因

Q：何も音が出ない
A：全ての配線の接続を確認してください。また、アース線(黒線)が確実にボディアース(ボディ金属面)に落ちているか確認(導通テスト)してください。
Q：アラーム音(高低音の繰り返しが３秒間続く)が鳴る
A：本体ユニットの黒の並行線とアンテナセンサー線の接続を確認してください。

2014DEC25改訂

本製品は生産後及び出荷前にダブル動作チェックをし、万全の状態でお客様にお届けしております。取り付けに関しましても、この説明書をよくお読みになって破損や事故のないよう十分注意していただくようお願い申し上げます。

ツーフィット株式会社　〒231-0033　神奈川県横浜市中区長者町5-75-1　www.to-fit.co.jp